

◀S·E·L·D·A·A▶ No.12

平成3年3月20日 発行

上智大学英語学科同窓会
東京都千代田区紀尾井町7-1
上智大学英語学科事務室気付

Sophia English Language Department Alumni Association

SELDAA対談

新年度にあたっての抱負

英語学科長 松尾 戈之 (S. 39年卒)

英語学科同窓会会長 関 浩一 (S. 39年卒)

未年であけた1991年。4月からの新年度に向けて、英語学科会、SELDAAのことなど、お二人に抱負を語っていただきました。

編集部：まず新年度に向けて英語学科、学科生について松尾学科長のほうからお願いします。

松尾：それでは、英語学科としてカリキュラムの充実を図ってきたという点について話しましょう。今まで英語学科で学べばある程度英語はできるようになった。しかしこれからはそれだけでは十分とはいえない。英語専門学校も、短期でしかも有効な方法で語学教育を展開しているし、約10を越す大学が外国語学部という名称をつけて語学教育の充実を図っていることから、追い上げが激しくなっているんです。

関：その大学というのは私大でしょうね。

松尾：そうです。むろん東京外語大もありますが……。そこで、これからの英語学科の進む道は単に語学のみならず、学問的な研究分野を深めることを目標に4月からカリキュラム内容をより明

確化することになりました。その研究分野とは①国際関係研究②アメリカ研究③イギリス・英語文化圏研究などの地域研究④言語・コミュニケーション研究の4分野です。

関：地域研究とは具体的にはどういうことを勉強するのですか。

松尾：アメリカやイギリス地域の歴史・文化・社会・経済などを深く研究する内容の講座を4月からスタートします。従来のカリキュラムの1/3ぐらいを入れ替えましたが、大変な作業でしたよ。

関：学生は一つの分野しか選択できないわけですか。

松尾：学生のことも考えて、この4つの研究分野からおもな分野を1つ選択してもらい、その他、興味ある科目も自由に選べるという融通性も持たせていることが特徴です。

関：私が学生であった頃、例えば経済学部の授業など取って単位とした経験があるけれど、そのシステムは今も残っているのですか。

松尾：はい残っています。専門教育と称される単位から1/4は他学部で取ってき

てもいいということになっています。

関 : 他学部の単位はむしろ積極的にとってこい、としたほうがいいですね。私の経験からすると、今になって思うに、その部分が大いに役に立っていますね。

松尾 : そこも狙いとしているんですよ。英語科の専門的な分野研究をコアにして残りは他学部の興味のある、また将来自分の役に立つ科目を取得する。むしろ英語教育はそれらと別にベースとして必修科目でありますかね。即ち、英語に強く、分野研究にも通じていて、他学部の教養を備えている学生になってもらうべく指導をして行くつもりです。

編集部 : それでは今度は、社会人から見てどんな資質を持った人材が社会に求められているかを、会社経験の長い関さんから伺います。

関 : しょせん言葉というのは、ツールであって、会社という組織からするとそれだけでは駄目ですね。学生時代に勉強した個々の細かいことは忘れてしまってもいいが、むしろ大切なことは経済的なまた法律的ななどの「物の見方と考え方」が社会に入って一番大切でしょう。つまり、英語だけは強いという人はいわゆる「英語屋」であって、この人は会社という組織の中では限界がありますね。

松尾 : ある程度英語ができて、その人が勉強した内容がバックになれば、中身のない英語に終始してしまうと言われ

ますね。例えば、哲学とか歴史とか。

関 : まったくその通りですね。それは財布と同じですよ。財布は中身が入っているから意味があるけど、財布（言葉）そのものだと意味がないということですよ。即ち、語学は必要条件ではあるが、充分条件であるということではないですね。

松尾 : その意味からいうと上智の英語学科は、英語もできるが、他分野にも強いという一種のリベラルアーツカレッジ的な体質をめざしているといえませんか。

関 : そうですね。他分野の教養もあり人間的なフレキシビリティのある人が望ましいですね。つまり一つのことだけやってきた人はうまくないですね。もう一つ思い出したのは、あるヨーロッパの大手多国籍企業のトップエグゼクティブには、哲学とか歴史学を専攻してきた人が結果として多いように聞いています。これも全体を見渡す能力の強力なバックボーンとしてあるようですよ。

松尾 : いまいわれた哲学、歴史学などもリベラルアーツといえますね。一つの技術（英語も含めて）に秀でた人をテクノクラートとすれば、これからは、このテクノクラートをコントロールする人材が必要なんでしょうね。つまり、英語運用力を身につけた上で、世界的に通用する教養をも身につけた人材が必要とされているということでしょうか。



松尾学科長

関会長

編集部：さて、実際に社会に出て各方面で活躍している卒業生の交流の場が同窓会でですね。ここで、同窓会の今後についてのお話を伺いたいと思います。

関：私が会長になってからすでに1年が経過しましたが、今までの鈴木会長を中心に組織体制づくりが着々と実を結び、今では同窓会会員組織も日本国内で約4,000名になっています。その活動の内容もこの会報で年2回皆様のお手元に届くようになっていますが、今年はとくに新規の企画を進めています。すでに前々号の会報でご案内したように各業界の著名人によるSELDA Forum、卒業生が講師となるBTF講座、女性セミナーの継続実施、さらには野口基金の運用、SELF活動のバックアップ、会則の改正など関係各位のご協力のもと積極的に取り組んでいるんです。とかくこの種の組織は一方通行の要素が多いのですが、今年からの企画には同窓会会員同志、卒業生と教授、在校生の双方向交流を目指すものにしていくつもりです。また、同窓生同志の交流にもお役に立つコーディネーターとしての存在を考えていきたいと思

っています。

松尾：確かに会員としても何らかのメリットがなければ、その関係は途切れてしまうでしょうが、今年の各種の企画は同窓会の組織としては画期的な事と思いますよ。

関：そうです。一番肝要なことは、卒業生・学校・学生の三者に役立つメリットがなければ存在意義自体疑われると思いますよ。まして、年間2,000円の会費をいただいて運営しているわけですから、単に会報での情報のみで止まらない会員の「役に立つ」活動が必要なんです。但し、地理的・時間的要因で直接参加できない方は、是非会報の紙面を有効に活用していただきたいと考えているんですよ。全国の会員の方からのご意見・参加をお待ちしています。最後に、この英語学科同窓会の同窓生同志・学校・学生相互の連帯感を高めてゆくようにしたいと考えています。ついでに、来月20日に予定している総会をはじめ、各種行事に皆さんの参加を是非お待ちしております。

編集部：今日は、お忙しい中、ありがとうございました。

Back to the Future講座(前期)のご案内

開催日時：金曜日 5・6時限 13:30~15:05

6号館212教室

〈スケジュール〉

1991年	4月19日	ガイダンス	6月7日	講義：安田尚代氏
	4月26日	講義：長縄友明氏	6月14日	クラスディスカッション
	5月3日	休み	6月21日	講義：安田鈔暁氏
	5月10日	講義：長縄友明氏	6月28日	講義：安田鈔暁氏
	5月17日	講義：長縄友明氏	7月5日	講義：安田鈔暁氏
	5月24日	クラスディスカッション	7月12日	クラスディスカッション
	5月31日	講義：安田尚代氏	7月19日	レセプション

受講資格：英語学科卒業生及び在校生
お問い合わせ及びお申し込み先：
英語学科事務室・金光 TEL03-3238-3719

長縄友明氏 S.39年卒

㈱松下電器産業法務二部部長

テーマ：国際法務問題と予防法務

「日本企業は過去20年程の間に猛烈なスピードで国際企業に変身しました。その変身の生みの苦しみの一つは、国際法務問題との遭遇であったと言えます。3回の講座では、米国のZenith対松下他の独禁法訴訟、EC委対日本企業の独禁法審判の諸ケース、取引のすべての条件が凝縮する契約の業務に言及しつつ、法律問題を未然に防ぐための予防法務を論じたいと思います。学生の皆さんの関心のある人事等の諸制度についても質疑に応じ、期待する社員像も語りたいたいと思います。」

安田尚代氏 S.55年卒

外国法事務弁護士（ニューヨーク州）

ミルバンク・ツイード・ハドリ&マックロイ
オフカウンセル

テーマ I・米国の法制度

・米国社会での弁護士の役割

- ・日米法意識の違い
- ・日米構造協議における弁護士問題
- ・日米の外国法事務弁護士制度

テーマ II・米国大学院への留学

- ・米国Law Schoolへの留学
- ・米国で日本人が働く際の問題点と留意点
- ・日本企業の対米投資、進出に伴う摩擦に象徴される日米経済、企業行動様式の落差

安田鈔暁氏 S.41年卒

日産自動車 海外部部長

テーマ：輸出の時代から工場進出、経営の現地化まで

イギリス、アメリカ等現地での体験も含めて日産の海外活動に一環して携ってきた日本企業が、海外で人を雇い、物をつくり、売る時代に、本社と現地会社、現地の従業員と日本人社員とのコミュニケーションの問題が起っている。異文化コミュニケーションを理論でなく、実践していくべき企業のあり方と個人のあり方を、失敗談やマスコミで取り上げられた事例も交えてお話しいただく予定。

卒業生便り

中東戦争から逃れて

昭和50年卒 井上充代

（ご主人井上光正氏（S.49年卒）は㈱丸紅エネルギー本部に勤務。現在アブダビ駐在中）

“See you in September.”——娘は友達との電話をため息まじりに切りました。6月末の夏休み開始以来40日間サマースクールで英語の特訓を受け、9月からはいよいよ正規の8年生に入れると張り切っていた矢先の出来事でした。数日後には待望の休暇旅行にも出かけるはずでした。玄関には急いで取りまとめたスーツケースが3個。もうドライバーが下で待っています。

8月10日、会社の「全員退去」命令を受け私達は娘二人（小6・3歳）を連れ、1年2ヶ月住み慣れたアブダビ（アラブ首長国連邦）を後



にしました。帰国後はしばらく実家に身を寄せましたが、9月からの学校の事も考え、取りあえず社宅をいただき、最低限の電化製品、家具をリースし、仮住まいを始めました。主人は1ヶ月後、アブダビへ戻り、以来家族離ればなれの生活が続いています。アブダビでは、これまでになく家族と一緒に過ごせる時間が多かっただけに、突然の父親不在は子供達に大きなショックを与えたようです。イラクの人質の方々が解放された時には、私達もこれで戻れるかと期待もし、1月15日までにはきっと話し合いで解決される。それまでの辛抱と頑張ってきましたが、最悪の事態を迎えた今、何の見通しも立た

なくなりました。

長女は4月から中学生。とりあえず近所の中学へ入学させる予定ですが、一日も早く家族が揃ってアブダビで生活できるよう願うばかりです。幸いアブダビは戦火が及ぶ危険もなく、主人も変わりなく仕事を続けておりますが、あの美しいトルコブルーの海と砂漠で見る息をのむような星空がこの戦争でおびやかされている事を聞き、胸を痛めずにはられません。世界中の誰もが望まない戦争がほんの一握り、いやたった一人の権力者の為起きてしまった事が残念でなりません。

(1991年1月31日に投稿いただきました)

イラク駐在をふり返って

住友建設株式会社国際営業部営業課所属
昭和57年卒 青木一郎

私が社命でイラクに駐在していたのは1986年8月から1990年の7月までの約4年間である。

初めてバグダッドのサダム・フセイン空港のターミナルビルを出た時、あまりの暑さにグッタリとなった事が思い出される。8月はイラクで最も暑い時期で直射日光の下では50℃を軽く越える。帽子をかぶらずに5分間外を歩くと頭痛を覚えるほどだ。妻(57年卒)は戸外に出た瞬間の暑さをオープンに頭を突込んだような熱さと言っていた。この猛暑は5月から9月まで続く。この間空に雲を見つける事はできない。10月になると、幾分涼しくなってくる。特に夜は過ごしやすくなる。10月から11月にかけてが秋である。

春は1月～3月の雨季の後、長くて1ヶ月程度、丁度日本の5月のような穏やかな日が続く。バグダッドの家々の庭がインドなどから持ち込まれた原色の花で彩られ、郊外に出ると鮮やかな新緑の広野に揚雲雀の音がこだまするのどかな風景が広がる。メソポタミアの自然がほんのひととき人間にやさしさを見せるこの時期、イラクは観光シーズンを迎える。

金曜日には私もよくバグダッド周辺の遺跡巡りに出掛けた。バグダッドの南90kmのユーフラテス河畔にあるバビロン、ササン朝ペルシャの都クテシフォンとセレウコス朝シリアの最初の都セレウキアはバグダッドのすぐ郊外にある。これらは日帰りコースである。遙か南に下ればシンドバッドの船出の町と言われる港町バスラを拠点にフェニキアの遺跡群の中でも有名なウルの遺跡が、又エデンの園の伝説の町クルナがあり、北に向かえばアッシリアの都アッシュールが、そしてイラク第二の都市モスルはやはりアッシリア王国の遺跡がニネベを中心に散在する。

これらの遺跡はその多くの出土品が今世紀初頭ヨーロッパに持ち出され、今日、大英博物館やルーブル美術館、そしてベルリンのペルガモン博物館に保管されている。

遺跡の大部分は自然の崩壊に任せたままである。バビロンは例外の1つであり、イラク政府によって修復作業が驚くべき速さで行われた。1986年秋、初めて私がバビロンを訪れた時は修復作業が細々と始まっていた。

寂寞とした遺跡の中を復元図を手に、空中庭園やバベルの塔を探しながら一日歩き回った。中心部をなす本城跡からユーフラテス河沿いに更に南へ1キロメートル程歩いてゆくと、バベルの塔の跡地と覚しき所へ辿り着く。周りは一面荒地で、ブリューゲルが後に描いた想像図(ウ

イーン(イランの美術史美術館蔵)を偲ぶ物はほとんど土に返ったレンガのかげら位である。だがそれが歴史が証明するありのままの姿である。

その後3年の間バビロンは訪れる度に姿を変えていった。空中庭園のある本城に残っていた新バビロニア王国のネブカドネガルVI世時代に築かれたレンガの壁の上に新たにレンガを積み重ねたのだが壁面を横から見ると新しい部分は凹凸が激しく、下部に残る壁面の風化を経た直線の美しさを損ねている。床はコンクリートで固めてしまった。その下には何層にも新バビロニア王国以前の王朝の遺跡が未発掘で眠っている。あちこちの新しいレンガにはサダム・フセイン大統領がバビロンを修復した旨がアラビックで刻んである。ここは89年の停戦後、イラクの観光の目玉として海外からの観光客が多く訪れるようになった所だ。レンガに刻まれた文字の意味を知らぬまま通り過ぎる人も多い。



昨年8月2日に始まった湾岸危機は今年1月16日からついに湾岸戦争となった。戦争は人を殺すだけでなく人類の歴史をも消してしまうものだ。イラン・イラク戦争の戦火を免れた数々の人類の遺産が、そして4年の間に得た多くのイラクの友人が無事であることを祈る毎日である。

(1991年1月31日に投稿いただきました)

〈女性セミナーのご紹介〉

女性セミナーに出席して

昭和38年卒 上村美保子

1990年11月、12月のセミナーのひとつです。老夫婦2組が食事にやってきました。ホテルの支配人がその対応に追われています。そこへウェイトレスが急ぎ足でやってきて、支配人に、台所でべろんべろんに酔っぱらっているコックの状態を報告します。He's "potted" the shrimps, "soused" the herrings, "pickled" the onions, "smashed" the eggs, "in his cups", "under the table",と。とても注文の料理が作れる状態ではありません。イギリス独自のユーモアを混じえた、つい吹き出してしまうほどのコメディイヤーなのですが、英語にもいろいろな表現があるものです。日本語ですと、さしずめ「メロメロ」、「ベロベロ」、「へべれけ」、「ペロン・ペロン」、「グデン・グデン」、「できあがっている」、「前後不覚の」と言ったところでしょうか。Cambridge English School渋谷校のGeorge Turner氏によるレクチャーで、ビデオ“GOURMET NIGHT”からexpressions and idiomsを勉強した時のものです。

日頃、生徒達に教えている英語は、ある程度限られたものですし、ややもすると気持ちのうででマンネリに陥りがちですが、違った角度から英語を学ぶことは、リフレッシュされ良い刺激になります。10月のセミナーは、夏休みに帰英され、ロンドン、湖水地方を旅行なさったFr. P. Milwardが、その時のスライドを説明しながら見せてくださいました。1年先輩で、他学科の方ですが、イギリスを旅行なさってすっかり自称「イギリス病」にかかっている方がいらして、お話ししたところ大喜びなさり一緒にセミナーに出席しました。お仲間も増えて楽しく通っております。

1991年のセミナーでは、A. M. Lindberghの“Gift from the sea”の本から、女性の生き方——智慧を学んでいけたらと思っております。よろしかったら、ご一緒いたしませんか。

臨時総会・ニッセル教授退任パーティにご参加下さい

私達英語学科同窓生の多くが教えていただいたニッセル教授が、この3月末をもって上智大学を退任されます。同教授は、昭和34年来日、以来32年の長きにわたって、英語学科を中心に上智大学の教壇に立ってこられました。今後もいくつかの講座の授業はしばらく続けられるそうですが、昨年10月に満65歳のお誕生日を迎えられたため、学校の制度上、「満年停年」で退任されるとの事です。そこで当会ではこれを記念して、下記の要領にて、臨時総会・パーティを催します。

記

日 時：1991年4月20日（土） 午後3：30開会
場 所：上智会館第6会議室
プログラム：午後3：30～4：30 臨時総会（会則改定・決算報告・予算の検討、活動報告、会計監査委員の選出・承認等）
午後4：30～6：30 ニッセル教授のお話し。その後、歓談
会 費：4,000円（ニッセル教授に贈る記念品代を含む）
但し、夫婦で出席の場合は、2名で5,000円とします。

上記のように、総会議題を消化した後、ニッセル教授に、私達を指導してこられた年月を振り返って色々とお話をさせていただくことになっております。ニッセル教授に親しく教えを受けられた方、教授によく叱られた方、教授の授業を時々さぼった方など、教授になじみの深い方々も、あまり関わりの無かった方々も、この機会に私達の青春時代を振り返って楽しいひとときを、一緒に過したいと思っておりますので、なるべく多くの皆様のご出席をお待ちしております。

*尚、当日は同窓のS.48年卒の軍事評論家の江畑謙介氏をゲストスピーカーとして、今般の中東戦争についての分析をしていただく予定です。

◀SELDA A人材バンクシステム(仮称)のご紹介▶

上智大学英語学科卒業生の社会的評価が高まり、企業あるいは各種団体からの求人も年々増加しております。

そこでこの度、上智大学英語学科卒業生あるいは在校生の潜在能力を掘り起こし、社会に活用していただけるよう、SELDA A機関内に非営利活動として人材バンクシステム(仮称)を設置する計画を進めております。事務局側の体制が整い次第発足させたいと考えておりますが、この件に関する皆様の御意見・御提案(名称も応募中)を下記までお寄せ下さい。

連絡先：日下^{くさか}より子(19：00以降 tel & fax 03-3957-0573)

英語学科の卒業生の皆様へ

会員の皆様の近況、活動、住所変更など、皆様からのお便りをお待ちしております。尚、この会報への短^{くま}信も、どしどしお寄せ下さるようお願いいたします。

SELDA A編集委員一同

1991年度英語学科卒業生就職予定先

	男	女			
㈱共同通信社	0	1	コスモ石油	0	1
東洋経済新報社	1	0	BMGビクター	0	1
PHP研究所	0	1	中央信託	1	0
㈱毎日放送	1	0	マツダ	1	0
NHK	1	3	日本フィリップス	0	1
大広	0	1	帝国臓器製薬	1	0
中国放送	0	2	AIU保険	0	1
博報堂	1	0	サントリー	0	1
電通	1	0	オリックス	0	1
日経ホーム出版	0	1	千代田生命	1	0
東京エレクトロン東北	1	0	日清製粉	0	1
太陽神戸三井銀行	2	0	本田技研	1	0
ソニー	1	3	ユイムクリエイツ	0	1
三菱商事	1	4	松下電器産業	3	0
キャノン	0	1	日本写真印刷	0	1
日本マイクロシステム	0	1	キャノンソフトウェア	0	1
野村証券	1	1	日本航空	0	1
三菱信託	0	1	三和銀行	1	1
味の素	1	0	トーマン	1	0
東芝	0	2	東海銀行	2	0
日本生命	0	1	福岡銀行	1	0
日本債権信用銀行	0	2	神奈川県職員	1	0
富士銀行	1	1	森総合法律事務所	0	1
トヨタ	0	1	富士通	0	1
安田火災	3	0	NKK	1	0
測機舎	0	1	日本音楽著作権協会	0	1
山武ハネウエル	0	1	チェスマンハッタン銀行	0	2
日本興業銀行	0	4	日立SS	1	3
東京海上	0	2	住友銀行	1	0
オランダ航空	0	1	日産自動車	1	1
エイ・エム・エム・ロイヤルダ	0	1	日本ダンデムコンピューターズ	0	1
ツチエアウインズ	0	1	三井信託	0	1
ソロモンブラザーズアジア証券	1	2	日経BP社	0	2
会社			全日空	0	2
農林中央金庫	0	2	ダウ・ケミカル・ジャパン	0	1
興亜火災海上	0	1	清水建設	1	0
アメリカン・エクスプレス・イ	0	1	日興証券	0	2
ンターナショナル	0	1	マッキン・エリクソン博報堂	0	1
日本テキサス・インスツルメン	0	1	アンダーソン・毛利 ラビノウ	0	3
ツ			イツツ法律事務所		
ジェーシービー	1	1	ミキハウス	0	1
バンカーストラスト銀行	0	1	日本電気	1	3
全日空商事	1	0	三菱銀行	0	1
外務省専門職員	0	1	丸紅	1	0
東京ガス	1	0	東京銀行	0	2
オートラマアルファ	0	1	CBSソニーグループ	0	2
ロイヤルホテル	0	1	日本銀行	0	1
中外製薬	0	1	日経ホーム出版	0	1
富士ゼロックス	1	0	旭化成工業	1	0
日本IBM	1	1	松下電工	1	0
カウンティ・ナット・ウェスト	1	0	日本棋院	1	0
証券	1	0	三菱電機	1	0
福武書店	1	0	進学	4	2
神戸YMCA	0	1	就職せず	1	3

(1991年2月15日職業指導部)

会費お支払いのお願い

英語学科同窓会 (SELDA) の諸活動は、卒業生の皆様からの会費で運営されています。事務局一同は、より一層の活動内容の充実と拡大を図ってゆく所存です。同窓会の円滑な運営の為、まだ会費の未納の方は、同封の振替用紙で最寄りの郵便局・銀行より是非お支払いいただくようお願い致します。

尚、今迄一度も会費をお支払いいただいていない方は、入会金も併せてお支払い願います。

入会金：1,000円

年会費：2,000円 (出来れば3年分お願いします。)

事務局長